

在宅取組型(中学校)

学校名等	郡上市立大和中学校
実施日時	夏休み(8月1日~19日)の中で実施
会場	大和中学校・各家庭
参加人数	1年生(68家庭)
学習課題(分野)	親子の絆,深めよう 親子クッキング (命の大切さ・家族の大切さ・おもしろい)
運営者の願い	家族と一緒に食事を準備することを通して家族の一員であることを自覚したり、家族のために働く喜びを感じたりして欲しい。また、今後も食事づくりに興味をもって取り組むきっかけにしたい。



取組の意欲を高める

記録カードの工夫

- ・取組の良さを☆いくつかで示す、分かりやすい自己評価を工夫されました。取組の振り返りがしやすく、次回取組への意欲アップにもつながります。
- ・取組の紹介を「アピールポイント」として記入することで、取組への思いや、工夫した点をより明確に伝えることができました。
- ・中学生という年代に応じて、親子で楽しく取り組めるようなカードを工夫されました。

学習の内容

<年間テーマ> 親子の絆づくり

<取組の経緯>

親子クッキング 記録カード

・コロナウイルス感染防止の観点から、一堂に会する取組が難しい状況の中、在宅取組を通して家族で過ごす良さを見つめ直す機会として企画。

<取組の工夫>

- ・学校独自の記録カードを作成し、取組の良さを☆いくつかで評価できる。
- ・親子クッキングの内容(朝食・夕食)は敢えて決めず、各家庭の創意工夫に任せて取り組む。

<取組のまとめ>

- ・保護者からのメッセージには、料理の感想や感謝、食事づくりを通して家族の一員であることを再確認する温かい言葉が書かれた。親子の絆を深め、家庭で過ごす良さを見つめ直す取組になった。

メニュー ピザ・野菜スープ

写真・イラスト

アピールポイント
畑の野菜を8種類使って作りました。味付けはあんまりせず、野菜そのままの味にしました。

作った感想
みんなからおもしろいと言われてうれしかったです。意外に簡単にできたので、また作りたいです。スープはたくさん栄養がとれました。

お家の方からのメッセージ
野菜を切ったり、ピザの調合や生地をのばしたりする手際が良く、上手く作れたと思います。祖父母が作った野菜がたっぷり入ったスープは美味しくておかわりしました。また、一緒に作りましょう。

☆☆☆

<参加者の感想 実践カードより>

【作った生徒の感想】

- ・しっかり調味料を量らなくちゃと思っていたけれど、お母さんはだいたい量で入れていて、大丈夫かなと心配しながら作った。でも、とてもおいしかった。お母さんの量がおいしい量だった。お母さんはすごいと思った。
- ・お姉ちゃんの最後の部活のお疲れ会のために作った。作るのも大変だったけれど、使った道具を洗ったり片づけたりすることも大変だったし、ちゃんと時間に間に合うように作るのも大変だと分かった。

【お家の方からのメッセージ】

- ・親子クッキングを通して、子供と関わる時間をもつことができ、楽しい時間を過ごすことができた。それほど凝っていないメニューでも、一緒に作ったものはとても美味しく感じた。また、関わる時間がもてるよう、違うメニューも一緒に作ってみようと思う。



互いを思いやる

温かいメッセージ

- ・家族のためにメニューや味付けを工夫する子供たちの思いと、調理の様子を見守る家族の思いを、互いにメッセージとして伝え合っています。普段言葉にできない思いもメッセージとして伝えることができ、親子の絆が深まる機会となりました。



それぞれの家庭に応じた

取組

- ・親子クッキングの内容は敢えて決めずに取り組むことで、各家庭で取り組む方や内容を選択することができました。それぞれの家庭の状況に応じた無理のない取組となりました。